

# 天津居留民團月報

第 四 號

昭 和 十 三 年  
四 月 號

昭 和 十 三 年 五 月 五 日 發 行  
發 行 所 天 津 居 留 民 團

## 【公 告】

公告第十號

昭和十三年四月一日

天津居留民團長 白 井 忠 三

昭和十三年第三十一次居留民會通常會ニ於テ

一、昭和十一年度居留民團歳入出決算

一、昭和十一年度御下賜金記念事業費特別會計歳入出決算

右二件ノ承認議決ヲ經テ總領事ニ報告ヲ了シタリ仍テ左記ノ通り公告

ス

(左記省略)

公告第十一號

昭和十三年四月一日

天津居留民團長 白 井 忠 三

昭和十三年第三十一次居留民會通常會ニ於テ

一、土地課金條例中改正ノ件

一、取得課金條例中改正ノ件

一、特別會計條例中改正ノ件

一、不動産取得稅條例中改正ノ件

一、衛生費徵收條例中改正ノ件

一、水道使用條例中改正ノ件

一、御下賜金記念事業費特別會計條例中改正ノ件

一、退職給與基金特別會計條例制定ノ件

一、天津居留民團長助役條例中改正ノ件

一、天津居留民團會計主任條例中改正ノ件

一、居留民團條例規程規則條文中改訂ニ關スル件

右十一件ヲ議決シ總領事ノ認可ヲ經タリ仍テ夫々條例番號ヲ頭記シ左記

ノ通り公告ス

### 土地課金條例中改正ノ件

一、土地課金條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、第三條第二項ヲ左ノ通り改ム

地價ハ五年毎ニ修正スルモノトス 但シ課金調査委員會ニ於テ

地價ニ著シキ變動アリト認メタル場合ハ五年以内ト雖モ地價ノ

修正ヲナスコトヲ得

取得課金條列中改正ノ件

一、取得課金條列中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、第二條中課率ヲ左ノ通り改ム

年 取 得 額	課 金 額
壹千貳百弗	銀 六 弗
壹千貳百弗以上壹千五百弗迄	前項課金額ニ千貳百弗ヲ超ユル額ノ千分ノ六ヲ加フ
壹千五百弗	銀 七 弗 八 拾 仙
壹千五百弗以上貳千弗迄	前項課金額ニ千五百弗ヲ超ユル額ノ千分ノ八ヲ加フ
貳 千 弗	銀 拾 壹 弗 八 拾 仙
貳千弗以上貳千五百弗迄	前項課金額ニ貳千弗ヲ超ユル額ノ千分ノ十ヲ加フ
貳千五百弗	銀 拾 六 弗 八 拾 仙
貳千五百弗以上參千弗迄	前項課金額ニ貳千五百弗ヲ超ユル額ノ千分ノ十二ヲ加フ
參 千 弗	銀 貳 拾 貳 弗 八 拾 仙
參千弗以上四千弗迄	前項課金額ニ參千弗ヲ超ユル額ノ千分ノ十八ヲ加フ
四 千 弗	銀 四 拾 貳 弗 八 拾 仙
四千弗以上五千弗迄	前項課金額ニ四千弗ヲ超ユル額ノ千分ノ二十四ヲ加フ
五 千 弗	銀 六 拾 四 弗 八 拾 仙
五千弗以上七千弗迄	前項課金額ニ五千弗ヲ超ユル額ノ千分ノ三十ヲ加フ

七 千 弗

銀 百 貳 拾 四 弗 八 拾 仙

七千弗以上壹萬弗迄

前項課金額ニ七千弗ヲ超ユル額ノ千分ノ三十六ヲ加フ

壹 萬 弗

銀 貳 百 參 拾 貳 弗 八 拾 仙

壹萬弗以上壹萬五千弗迄

前項課金額ニ壹萬弗ヲ超ユル額ノ千分ノ四十二ヲ加フ

壹 萬 五 千 弗

銀 四 百 四 拾 貳 弗 八 拾 仙

壹萬五千弗以上貳萬弗迄

前項課金額ニ壹萬五千弗ヲ超ユル額ノ千分ノ四十八ヲ加フ

貳 萬 弗

銀 六 百 八 拾 貳 弗 八 拾 仙

貳萬弗以上

前項課金額ニ貳萬弗ヲ超ユル額ノ千分ノ五十六ヲ加フ

二、第三條ヲ左ノ通り改ム

第 三 條 本課金負擔義務者ハ毎年二月末日迄ニ一ケ年ノ收入豫算額ヲ申告スヘシ但新ニ負擔義務ヲ生シタル者若クハ收入額ニ變更アリタル者ハ一週間内ニ之ヲ申告スヘシ

前項ノ收入額トハ一定ノ体給ヲ受クル者ニ付テハ本俸手當、賞與及其他ノ收入ヲ通算シタル額トシ其他ニ在リテハ總收入額ヨリ必要ナル經費ヲ控除シタルモノトス

期日内ニ申告ヲ爲シタル者ニシテ課金調査委員會ニ於テソノ申告額ヲ相當ト認メタル者ノ取得額ハ其中申告額ヨリ十分ノ二ヲ控除シタルモノトス

申告ヲ爲ササル者又ハ申告額不相當ト認ムル者ノ取得額ハ課金調査額ニシテ

査委員會之ヲ認定ス但工巡費徵收條例第一條第二項ヲ適用スルコトアルヘシ

三、第四條中『取得高』ハ『取得額』ト改ム

四、第七條中『第一期自四月三十日限り』トアルヲ『第一期自四月至六月五月三十一日限り』ト改ム

### 特別課金條例中改正ノ件

一、特別課金條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ヲ左ノ通り改ム

第二條 本課金ノ賦課率ハ日本藝妓、帮間ニアリテハ花代ノ百分ノ十、酌婦ニアリテハ花代ノ百分ノ六トス

### 不動産取得稅條例中改正ノ件

一、不動産取得稅條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、本條例名ヲ『不動産取得課金條例』ト改メ條文中『本稅』トアル

ハ『本課金』ト改ム

二、第二條ニ左記第五號ヲ加フ

五、買戻約款附賣買又ハ賣渡擔保ノ契約ニ依ル原主ノ權利回復

三、第四條第一項中『所有權ノ取得』トアルハ『所有權又ハ永借權ノ取得』ト改ム

四、第四條第二項トシテ左記一項ヲ加フ

買戻約款附賣買又ハ賣渡擔保ノ契約ニ依ル權利取得ハ前項前段ノ

課金ヲ賦課ス

五、第五條中『土地建物届出摘要簿抄本ヲ添ヘト』トアルハ之ヲ削除ス

### 衛生費徵收條例中改正ノ件

一、衛生費徵收條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、第三條中『衛生費ハ毎月左ノ等級ニ依リ之ヲ徵收ス（昭和三年三月改正）』トアルヲ『衛生費ハ毎月左ノ等級ニ依リ之ヲ定ム』ト改ム

二、第四條ヲ左ノ通り改ム

第四條 衛生費ハ左ノ四期ニ分チ之ヲ徵收ス

第一期 自四月 至六月 五月三十一日限り

第二期 自七月 至九月 八月三十一日限り

第三期 自十月 至十二月 十一月三十日限り

第四期 自三月 至三月 二月末日限り

### 水道使用條例中改正ノ件

一、水道使用條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、第一條『上水ハ左ノ區別ニヨリ天津日本專管居留地内ニ供給ス』トアルヲ『上水ハ左ノ區別ニ依リ天津居留民團地區内ニ供給ス』ト改ム

二、第二章ノ各條ヲ左ノ通り改ム

第六條 給水装置ノ工事ヲ爲サントスルモノハ豫メ民團ニ届出ツヘシ

第七條 給水装置ノ工事ハ民團之ヲ設計施工シ其ノ費用ハ總テ請求者ノ負擔トス

但シ請求者特ニ民團ノ承認ヲ受ケタル時ハ量水器以下ノ流末工事ニ限り自ラ施工スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ其ノ材料設計及工事ノ検査ヲ受クヘシ

第八條 前條第三項ノ検査ニ對シテハ左ノ手数料ヲ徴收ス

一、鉛 管 一筋ニ付 銀三十仙

二、鐵 管 六十五ミリメートル以下 一本ニ付 銀三十仙

三、水栓類 一個ニ付 銀二十仙

四、竣工検査 一工事ニ付 銀二弗以上

五、前各號ニ該當セサル物件ノ検査ヲ要スル場合ハ民團ニ於テ適宜之ヲ定ム

第九條 給水装置ノ工事費ハ民團ノ設計ニヨル概算額ヲ前納スヘシ但シ官公署其他必要ナント認メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ概算額ハ工事完成後精算ノ結果過不足アルトキ

ハ之ヲ還付又ハ追徴ス

工事着手後其ノ請求ヲ取消シタルトキト雖モ既ニ要シタル工事費ハ之ヲ返還セス

第十條 給水装置ノ位置民團ニ於テ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

前項ニ依リ位置不適當ト認メ移轉變更セシメタル費用並ニ工事施工ノ結果工作物ノ復舊ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス

給水装置ノ位置又ハ工事ニ關シ第三者ヨリ異議アルモ民團ハ其ノ責ニ任セス

第十一條 民團施工ニ係ル給水装置ノ工事竣工後三ヶ月以内ニ生シタル故障ハ民團ノ費用ヲ以テ修繕ス但シ使用者ノ故意過失又ハ不可抗力ニヨル故障ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 他人ノ給水管ヨリ支管ヲ分岐セントスル者ハ原管所有者ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス

原管所有者給水管ノ位置ヲ變更シ又ハ撤去セントスルトキハ五日以前ニ支管所有者ニ通知スヘシ

此ノ場合ニ於テ支管所有者ハ民團ニ對シ支管ノ撤去若クハ敷設替ノ請求ヲ爲スヘシ

三、第十五條第三項ヲ左ノ通り改ム

私設消火栓ハ請求ニヨリ之ヲ設置ス其ノ工事並ニ費用ニ付テハ

(4)

第六條ヲ準用ス』トアルヲ『第二章各條ヲ準用ス』ト改ム

四、『第十條』ヲ『第十三條』トシ以下順次繰下ケ最後ノ『第三十三條』ヲ『第三十六條』ト改ム

五、第五章『徵收』トアルヲ『使用料』ト改ム

六、『第二十九條』ヲ『第三十二條』トシ左ノ通り改ム

第三十二條 左ノ各號ニ該當スルモノハ施工完了迄給水ヲ停止ス

一、量水器又ハ給水裝置破損ノ場合民團ニ於テ取替又ハ敷設替ヲ要求スルモノニ應セサルトキ

二、給水裝置施工後加工物ヲ設ケ或ハ其ノ他ノ障害ノ爲メ量水器ノ位置不適當ト認メ民團ニ於テ其位置變更ヲ要求スルモノニ應セサルトキ

三、量水器入孔内ニ汚水流入シ民團ニ於テ其ノ改造又ハ修繕ヲ要求スルモノニ應セサルトキ

### 御下賜金記念事業費

#### 特別會計條例中改正ノ件

一、御下賜金記念事業費特別會計條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、第二條ヲ左ノ通り改ム

第二條 居留民團ハ昭和十年度以降五ケ年内ニ銀參萬弗ニ達スル迄毎年銀五千弗以上ヲ一般會計ヨリ積立金ニ繰入ルモノ

### 退職給與基金特別會計條例制定ノ件

トス

退職給與基金特別會計條例ヲ左ノ通り定ム

第一條 本民團ニ退職給與基金ヲ設ケ之ヲ特別會計トス

第二條 基金ハ吏員及雇員ノ退職給與金支給ノ目的ヲ以テ毎年一般會計ヨリ銀壹萬弗以上ヲ繰入レ積立ツルモノトス

第三條 基金ハ退職慰勞金給與規程ニ基キ之ヲ支出ス

第四條 基金ヨリ生スル利息ハ之ヲ基金ニ編入ス

第五條 本基金ノ收支決算ハ毎年度一般歳入出決算ト同時ニ居留民團ニ提出スルモノトス

### 附 則

本條例ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 天津居留民團民團長助役條例中改正ノ件

一、天津居留民團民團長助役條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二、條例名ヲ居留民團長、助役條例ト改メ各條ヲ左ノ通り改ム

第一條 本民團ニ居留民團長、助役ヲ置ク

第二條 居留民團長、助役ノ任期ハ四年トス

第三條 居留民團長ノ年俸ハ銀壹萬弗以上銀壹萬五千弗以下トシ參事會之ヲ定ム其ノ他ノ給與ニ關スル規程ハ參事會之ヲ

定ム

第四條 助役ノ年俸ハ銀六千弗以上銀八千弗以下トシ居留民團長之ヲ定ム

其ノ他ノ給與ニ關スル規程ハ參事會之ヲ定ム

第五條 居留民團長、助役ノ退職慰勞金ハ居留民會ニ於テ之ヲ決定ス

### 天津居留民團會計主任條例中改正ノ件

一、天津居留民團會計主任條例中左ノ通り改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一、條例名ヲ會計主任條例ト改メ第三條中『民團長』トアルヲ『居留民團長』ト改メ第四條ヲ加フ

第四條 會計主任ノ退職慰勞金ハ居留民會ニ於テ之ヲ決定ス

### 居留民團條例、規程、規則條文中改訂

#### ニ關スル件

居留民會ニ於テ議決セル民團ノ條例、規程、規則條文中其趣旨内容ニ變更ヲ來サザル範圍ニ於ケル形式及字句ノ更正ヲ參事會ニ委任スルコト  
公告第十二號

昭和十三年四月一日

天津居留民團長 白 井 忠 三

昭和十三年第三十一次居留民會通常會ニ於テ

一、昭和十二年度居留民團歲入出追加豫算

一、昭和十二年度居留民團歲入出更正豫算

一、昭和十三年度居留民團歲入出總豫算

一、昭和十三年度御下賜金記念事業費特別會計歲入出豫算

一、昭和十三年度故田代將軍記念事業費特別會計歲入出豫算

一、昭和十三年度退職給與基金特別會計歲入出豫算

右六件ヲ議決シ總領事ノ認可ヲ經タリ仍テ左記ノ通り公告ス

(左記省略)

公告第十三號

昭和十三年四月四日

天津居留民團長 白 井 忠 三

(6)

總領事館告示第九號ニ依リ昭和十三年春季清潔法ヲ左記日割ニ依リ施行ス但シ雨天並強風ノ節ハ其當日ニ於ケル當該地區ノ施行ヲ延期シ更ニ期日ヲ公告ス

#### 記

四月十八日	第一區	山口街	芙蓉街
四月十九日	第二區	山口街	花園街
四月二十日	第三區	花園街	須磨街
四月廿一日	第四區	須磨街	住吉街



公告第十四號

昭和十三年四月二十一日

天津居留民團長 白 井 忠 三

一、品 名 セメント 五〇キロ袋入

一、數 量 二八、五〇〇袋

一、開札日時 昭和十三年四月二十五日 午前十時

一、入札場所 財務部川度課入札函

右入札希望者ハ財務部川度課ニ御出頭相成度

公告第十五號

昭和十三年四月二十六日

天津居留民團長 白 井 忠 三

本四月二十六日(火曜日)招魂祭執行ニ付休務ス

右公告ス

【辭 令】

囑託ヲ解ク (三月三十一日) 共益會 技師 宮本富明

囑託ヲ解ク (四月二日) 共益會 雇員 渡邊清四藏

任書記補總務部秘書課兼庶務課勤務 (四月五日) 明瀬晴雄

命總務部調査課勤務 (四月七日) 書記補 松田 勇

命臨時雇員總務部庶務課勤務 (四月十八日) 牛島俊策

臨時防護團編成事務擔任ヲ命ス(四月二日) 書記 和田爲正

臨時防護團編成事務兼擔ヲ命ス (四月二十日) 書記補 高木慎男  
(四月三十日) 傭人 周 肇 慶

【人 事】

一、出張

臨時囑託 神 山 英 一

馬廠河堤防補修工ヲ監督ノ爲メ四月十六日ヨリ向一ヶ月ノ豫定ヲ以テ唐

官屯小玉莊ニ出張ス

民團長 白 井 忠 三

公務ノ爲メ四月二十六日ヨリ二泊三日北京へ出張ス

主事補 小 黒 際 司

石灰積出連絡ノ爲メ四月二十八日ヨリ一泊二日豊台へ出張ス

一、民國職員資格別人員數左ノ如シ(四月末現在)

民團長 一 助 役 一 會計主任 一

主 事 二 技 師 五 主事補 四

技師補 一 書 記 五 技 手 四

書記補 一四 技手補 四 雇 員 三八

臨時雇員 一七 臨時囑託 四 臨時傭人 一

囑託員 三 合計一〇五名

【財務】

昭和拾參年四月分徵收現況月表 (十二年度)

科目	本月計		本月計		未済計
	調定額	累計額	収入額	累計額	
○民團課金					△印ハ朱書
一、土地課金	六、五七七五	二、八五〇八五	四三、九三三九七	一八、六三四〇	
二、家屋課金	一〇〇、六三〇九	六、七六〇三	八、七九一九	一八、八七三六	
三、取得課金	一三、一三三六	四四三三	一三、二七五四	八五七五	
四、營業課金	五五五〇	六、八二二五	一、四九七〇	四、〇一九五	
○雜種課金					
一、ダンサー	二四五〇	一、九五七〇	七七〇	一、三九〇〇	五九八〇
二、日本藝妓	六六九〇	七、一五〇〇	七四八〇	六、二九〇〇	一、〇四〇〇
三、中國藝妓		一六、七八三五	一、八九三〇	一四、三五四〇	二、四九〇〇
四、酌婦	四〇〇	二、二六〇〇	一、六六五〇	一、八八五〇	四九五〇
五、女給		二、一六五〇	一、七九五〇	二、〇六〇〇	五〇五〇
六、貸座敷		一、四八〇〇	五三〇〇	一、四三〇〇	三〇〇
七、常設興行		一、〇五〇〇	八五〇〇	九〇〇〇	一三〇〇
八、遊戯場		三、五五〇〇	四五〇〇	三、三五〇〇	三三五〇
九、臨時興行		六〇〇〇	一三〇〇	六〇〇〇	
○特別課金					
一、特別課金	五、〇〇八九	四九、三〇八三	五、二二四	四三、六七七六	五、六三〇七
○不動産取得税					
一、不動産取得税					
二、工巡費					
三、水道料					
四、埠頭收入					
五、一、繫船料					
六、二、埠頭置場料					
七、三、埠頭使用料					
八、四、渡船場使用料					
九、○衛生費					
一〇、一、衛生費					
一一、○手數料					
一二、一、營業人力車					
一三、二、客馬車					
一四、三、自用人力車					
一五、四、自動車及自動轉車					
一六、五、自轉車					
一七、六、大車					



七、中車	三、五八四五〇	二、〇〇〇	五、五八四五〇
八、小車	二、三四一〇〇	二、〇〇〇	二、三四一〇〇
九、行商	五、〇六四〇〇	二、〇〇〇	五、〇六四〇〇
十、飼犬	八七五二〇	二、〇〇〇	八七五二〇
○財產出生收入	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇
一、自來水公司配當金	八三五〇〇	八三五〇〇	八三五〇〇
二、預金利子	一、七九九六〇	一、七九九六〇	一、七九九六〇
○給水工事費	一、七九九六〇	一、七九九六〇	一、七九九六〇
一、水道計量器賣却代	四、四七七〇〇	四、四七七〇〇	四、四七七〇〇
二、給水工事費徵收金	一五、八七〇四九	一五、八七〇四九	一五、八七〇四九
○雜收入	一、六〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇
一、貸家料	一、六〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇	一、六〇〇〇〇
二、請願巡捕	一、九〇〇〇〇	一、九〇〇〇〇	一、九〇〇〇〇
三、電車公司利益配當金	九、四六六九一	九、四六六九一	九、四六六九一
四、水道計器檢査及修理代	四二八〇	四二八〇	四二八〇
五、車輛登錄番號票代	三、〇五二〇〇	三、〇五二〇〇	三、〇五二〇〇
六、雜收	五、七九三六	五、七九三六	五、七九三六
七、自來水公司納付金	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇	五〇〇〇〇
合計	三、五八四五〇	三、五八四五〇	三、五八四五〇

八、過年度收入	二、三六二二〇	二、三六二二〇	二、三六二二〇	二、三六二二〇
計	三、三六三三〇	三、三六三三〇	三、三六三三〇	三、三六三三〇
備考	收入濟額ハ調定額ニ對スル九〇%			
昭和拾參年度新年度徵收現況月表				(四月份)
科	調定額	本月計	累計	本月計
○雜種課金	本月計	累計	本月計	累計
一、日本藝妓	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
二、酌婦	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
○不動産取得課金	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
一、不動産取得課金	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
○工巡費	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
一、工巡費	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
○使用料	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
一、道路使用料	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
二、水道料	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
三、土地貸下料	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
○埠頭收入	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
一、繫船料	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
二、埠頭置場料	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
三、埠頭使用費	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
○衛生費	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇
合計	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇

項目	七年度	八年度	九年度	十年度	十一年度	分納	合計
一、衛生費	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
○病院收入	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇
一、酌婦檢徴料及治療代	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇	三六五〇
二、傳染病患者入院料	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
三、結核病患者入院料	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇
四、自動車賃賃	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
○手數料	二、八四〇〇	二、八四〇〇	二、八四〇〇	二、八四〇〇	二、八四〇〇	二、八四〇〇	二、八四〇〇
一、營業人力車	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
二、客馬車	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇	四六〇〇
三、自用人力車	三六一〇〇	三六一〇〇	三六一〇〇	三六一〇〇	三六一〇〇	三六一〇〇	三六一〇〇
四、自轉車	二、三六〇〇	二、三六〇〇	二、三六〇〇	二、三六〇〇	二、三六〇〇	二、三六〇〇	二、三六〇〇
五、大車	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇
六、中車	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇	四四〇〇〇

過年度滯納課金整理月報 (四月分)

項目	七年度	八年度	九年度	十年度	十一年度	分納	合計
七、小車	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇
八、行商	四七四〇	四七四〇	四七四〇	四七四〇	四七四〇	四七四〇	四七四〇
九、飼犬	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
○給水工事費	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
○微收工費	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
一、水道計量器賣却代	三五六〇〇	三五六〇〇	三五六〇〇	三五六〇〇	三五六〇〇	三五六〇〇	三五六〇〇
二、給水工事費徴收金	二、三六〇元	二、三六〇元	二、三六〇元	二、三六〇元	二、三六〇元	二、三六〇元	二、三六〇元
○雜收入	二、二二〇〇	二、二二〇〇	二、二二〇〇	二、二二〇〇	二、二二〇〇	二、二二〇〇	二、二二〇〇
一、車輛登録番號票代	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
二、雜收	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇	一、六二〇
計	五、八〇九三	五、八〇九三	五、八〇九三	五、八〇九三	五、八〇九三	五、八〇九三	五、八〇九三
備考 收入濟額ハ調定額ニ對スル七二%	三、八五二六	三、八五二六	三、八五二六	三、八五二六	三、八五二六	三、八五二六	三、八五二六

項目	七年度	八年度	九年度	十年度	十一年度	分納	合計
三月末現在滯納	三、九七一、九二	八、四七五、二五	二、三七一、六四	六、〇三七、三三	四、八九九、三六	三、九〇二、六三	九、六七一、四一
四月中整理高	—	三、三三、六六	三、四〇、五〇	一、〇〇、六六	四、九、六九	一、二八、三〇	二、三三、二二
四月末現在滯納	三、九七一、九二	八、三〇一、五九	二、二七〇、一四	五、九三六、六六	四、八八九、六六	三、八七四、三三	九、四三八、一九

備考 分納ニ付テハ一、四二六弗四〇仙也ノ收入整理アリタレ共分納新契約ニヨリ二八二弗三〇仙也ノ追加及過誤納五弗八〇仙也ノ返還アリ

鑑札検査月表 (四月分)

検査日時 昭和十三年四月廿五日 自午後一時 至午後五時

検査場所	検査件数	検査場	及過剰件数
旭街、山口街間	1	行商	1
福島街、宮島街間	2	行商	2
宮島街、秋山街間	3	行商	3
計	6	行商	6

自動車及自動自転車 鑑札発行月報 (四月分)

計 五十五件 銀參拾八弗拾仙

租界名	乗用自動車	營業用自動車	自動自転車	小計	計
大日本租界局	23	3	5	31	31
英國工部局	25	6	4	35	35
法國巡警局	17	2	3	22	22
義國及市政府	1	1	1	3	3
小計	66	12	13	91	91
累計	1,712	192	75	1,979	1,979

昭和十三年四月分舊年度歳出出現計表

(經常部) ▲印ハ朱書

科 目	豫算額	本月支出高果	計 殘
一、事務所費	三三,〇〇〇	一八,八八五	一四,一一五
二、會議費	二,〇〇〇	一,九三二	六十八
三、義勇隊費	二,〇〇〇	三〇〇	一,七〇〇
四、警備費	一五,二八〇	二,四〇七	一二,八七三
五、土木費	九三,五二〇	一,六四三	九一,八七七
六、水道費	三四,八五〇	二,四三六	三二,四一四
七、給水工事費	一四,五五〇	二,四三九	一二,一一一
八、埠頭費	五,七四〇	九八〇	四,七六〇
九、衛生費	四,五五〇	一,五三三	三,〇一七
十、保淨費	五,九二〇	二,三二五	三,五九五
十一、救助費	五〇〇	三三〇	一七〇
十二、課金徴收費	二,五〇〇	一,六四三	八五七
十三、雜支費	八三,七〇〇	八三,五八五	一一五
十四、豫備費	四,七三三	一,七〇六	三,〇二七
一、御下賜記念事業積立金	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇
二、事務所費	三,八〇〇	三,八二九	二十九
三、土木費	五,一〇〇	三,五〇三	一,五九七

科	目	豫算額	本月支出高	累計	殘額
四、	柳筒所移轉並下水暗渠改造費	六,000.00		六,000.00	
五、	道路擴張費	四五,000.00		四五,000.00	
六、	消防隊建築並更員宿舍建築費	四〇,000.00		四〇,000.00	
七、	衛生費	一四,000.00		一四,000.00	
八、	水道費	三六,四〇〇.00	一七,〇〇〇.00	一六,〇六七.四〇	一〇,三三二.六〇
九、	團債	七六,八三五.〇〇		七六,八三五.〇〇	
十、	補助及寄附	四九,〇〇〇.〇〇		四九,〇〇〇.〇〇	
十一、	共立學校增築補助金	二七,三九五.〇〇		二七,三九五.〇〇	
十二、	民國卅年紀念式費	一〇,〇〇〇.〇〇	三六.〇〇	一〇,〇三六.〇〇	九,九六四.〇〇
十三、	警備費	五,〇〇〇.〇〇		五,〇〇〇.〇〇	
十四、	保淨費	九,〇〇〇.〇〇		九,〇〇〇.〇〇	
十五、	土地買收費	二七,〇〇〇.〇〇		二七,〇〇〇.〇〇	
一、	事務所費	一五,二五〇.〇〇	八,五〇五.五五	八,五〇五.五五	一五,〇七四.四五
二、	會議費	三,〇〇〇.〇〇		三,〇〇〇.〇〇	
三、	義勇隊費	三,〇〇〇.〇〇		三,〇〇〇.〇〇	
四、	警備費	八七,八九〇.〇〇	九,五七〇.九七	九,五七〇.九七	一七,三一九.〇三
五、	土木費	二三,九〇〇.〇〇	四,三九二.〇五	四,三九二.〇五	一九,六〇八.九五
六、	水道費	一五,五〇〇.〇〇	一,三四六.四〇	一,三四六.四〇	一五,一五三.六〇

昭和十三年四月分新年度歲出現計表(經常部)

科	目	豫算額	本月支出高	累計	殘額
七、	給水工事費	三,一〇〇.〇〇		三,一〇〇.〇〇	
八、	埠頭費	六,九〇〇.〇〇		六,九〇〇.〇〇	
九、	衛生費	五,〇九二.〇〇	二,〇九二.九五	二,〇九二.九五	四,八七九.八五
十、	保淨費	六,五七〇.〇〇	三,三六六.六七	三,三六六.六七	三,二〇三.三三
十一、	救助費	二,〇〇〇.〇〇	五〇〇.〇〇	五〇〇.〇〇	一,五〇〇.〇〇
十二、	課金徵收費	八,四三四.〇〇		八,四三四.〇〇	
十三、	雜支	一八,五〇〇.〇〇	一,七九〇.三七	一,七九〇.三七	一六,七〇九.六三
十四、	豫備費	四一,四九九.〇〇		四一,四九九.〇〇	
一、	御下賜金記念事業積立金	五,〇〇〇.〇〇		五,〇〇〇.〇〇	
二、	事務所費	六四,〇〇〇.〇〇		六四,〇〇〇.〇〇	
三、	土木費	六,三〇〇.〇〇	一八八.五〇	一八八.五〇	六,一一一.五〇
四、	柳筒所移轉並下水暗渠改造費	六,〇〇〇.〇〇		六,〇〇〇.〇〇	
五、	道路擴張費	三六,〇〇〇.〇〇		三六,〇〇〇.〇〇	
六、	消防隊建築並更員宿舍建築費	三,〇〇〇.〇〇		三,〇〇〇.〇〇	
七、	衛生費	三,三七七.〇〇	八〇〇.〇〇	八〇〇.〇〇	二,五七七.〇〇
八、	水道費	一七,八〇〇.〇〇	五三五.〇〇	五三五.〇〇	一七,二四五.〇〇
九、	團債	一五,四三三.〇〇		一五,四三三.〇〇	
十、	補助及寄附	四,〇〇〇.〇〇	二,五〇〇.〇〇	二,五〇〇.〇〇	一,五〇〇.〇〇
十一、	民國卅年紀念式費	一〇,〇〇〇.〇〇		一〇,〇〇〇.〇〇	
十二、	事務變費	三〇,〇〇〇.〇〇	四六四.〇三	四六四.〇三	二九,五三五.九七

(臨時部)

【建築】

一、四月中ニ於ケル作業状態左ノ如シ

處理事項

- イ、職員宿舍新築一部設計變更見積
- ロ、乳劑装置新築工事ニ着手
- ハ、療病院増築設計
- ニ、建築許可申請取扱
- ホ、民團建物修繕申込取扱
- ヘ、宿舍修繕申込取扱

修繕事項

- イ、事務所各箇所修繕
- ロ、事務員宿舍修繕
- ハ、工務部員宿舍修繕
- ニ、衛生部員宿舍修繕
- ホ、業務部員宿舍修繕
- ヘ、警備建物修繕

【保淨】

一、四月中保淨作業使用延人員左ノ如シ

- (イ) 道路掃除夫
- (ロ) 下水掃除夫
- (ハ) 塵芥收去夫
- (ニ) 石炭ガラ收去夫

八	六	十二	二	九	二	二	二	二	一
件	件	件	件	件	件	件	件	件	件

一、五六〇人	一、三二〇人	一、七四〇人	九九人
--------	--------	--------	-----

(ホ) 尿管收去夫

(ヘ) 衛生夫

一、〇五〇人  
一七一人

二、四月中塵芥及石炭ガラ收去数左ノ如シ

トラツク

八五三台

手引車

一、八五〇車

三、四月中各戸便所及下水故障数

一區	五二戸
二區	七三戸
三區	三七戸
四區	七三戸
計二三五戸	

四、衛生作業

各戸汲取便所内ノ掃除石灰撒布及胡同内濕地塵芥箱据付箇所二箇  
本年度ハ一號撒水車一台昨年以來天津附近駐屯ノ各部隊ニ飲料水  
配給ノ爲メ使用シツ、アル爲メ補助車大型タンク車ヲ時々出動サ  
七五號車ト二台ニテ撒水シツ、アリ

本月中撒水使用水量左ノ如ク

大型タンク車	一七四回	一七四、四〇〇	ガロン
五號車	七〇〇回	三五〇、〇〇〇	ガロン

六、四月自十八日春季定期清潔検査施行ス  
成積左ノ如シ

總戸數 五八七〇戸

空家 八二戸

清潔法未済 四四戸

未済家屋ニ對シテハ四月三十日再検査ヲ施行シ全戸完全ニ終ル

【上水道】

(一) 上水購入量並使用量比較月表

差額	四月		前月分ト比較
	水千單位	金額	
入量	元、五九、〇〇〇	二、〇三、〇	水千單位
用量	三五、四四、五八〇	二、〇六九、二	金額
水量	四、〇九四、四二〇	一、六三三、六	弗額
		八、〇五、五	摘要

(二) 上水使用徴収額

徴収額	四月分		前月分ト比較
	金額	累計	
	一八、八三、三		摘要

(三) 上水使用開始名義變更並廢止

件數	四月分		累計
	開始	變更並廢止	
上水使用開始	五五		一七四
上水使用名義變更	二〇		九八
上水使用廢止	二〇		一一二
上水使用停止	一		一〇

(四) 給水裝置戸數

給水裝置總戸數	日本		華人	計
	給水使用	給水廢止		
給水裝置總戸數	二、〇五六	七〇〇	二、八七八	
給水使用	二、〇五六	七〇〇	二、七五六	
給水廢止			一一二	



(五) 水質試験表 (四月分)

場所	水道水界 佛和	硫酸ナシ	細菌聚落數	57.0
検査年月日	昭和 13.4.25	溶解酸素 3.25	大腸菌	ナシ
清濁色相	無色透明	溶解炭素 痕跡	試験者	佛界パステル ユール化学 研究所
臭味	ナシ	酸性中和量 0.60		
鹽化アンモニア	0.020	アルカリ中和量 0.50		
蛋白アンモニア	0.040	鹽性殘滓 100-C 232.00		
亞硝酸	ナシ	鹽性赤熱=於テ 221.00		
硝酸鹽	4.00	總硬度 F 19.0		
クロール	23.40	臨時硬度 F 15.0		
燐酸	ナシ	永久硬度 F 4.0		

(六) 給水工事

給水新設工事	件	四月分	金額	件	金額
給水布設替工事	八	非	八二五、〇三		
量水器取替工事	一		四二五、〇〇		
給水装置増設工事	一		六、七〇		
計	一一		一、二五、七三		

(七) 雑工事

一、給水装置修繕	件	四月分	金額	件	金額
二、量水器新設	四二		三八		
三、量水器取替	一		七〇		
四、量水器検査完全	七〇		五四		
五、量水器検査不完全修繕	五四		四三		
六、其他雑件	四三				
計	一八〇		一、二五、七三		

(八) 給水工事施工ニ關スル件

從來給水装置ノ工事ハ配水管ヨリ量水器迄ヲ民團ニ於テ施工シ量水器以下ノ内部工事ハ各自隨意請負人ニ託シ施工シ居タルモ材設計並工事不完全ニシテ故障原因トナルコト多クアリタルニ鑑ミ之等内部工事ヲモ民

團ニテ設計施工スベク水道使用條例ヲ改正シ四月一日ヨリ之レヲ實施セリ

【埠頭】

一、四月中日界埠頭繫船數左ノ如シ

汽船	二雙
民船	一四雙
大型	二一六雙
中型	一〇六雙
小型	二八雙
合計	三六六雙

二、懸念中ナリシ軍ノ埠頭使用モ暫時小康状態ニアリ加フルニ四月以降内地航路ノ復舊ト共ニ輸出入頻繁ヲ極メシ結果次第ニ日界碼頭利用價値ヲ發揮スルニ至レリ先ツ國際運輸取扱ノ神鈴丸近海郵船ノ新義洲丸等ノ回航アリ尙引續キ千噸級汽船ノ寄港ヲ見ントス桴船モ本月ニ入りテハ一四雙ノ多キニ達シ民船ハ三五〇雙ノ激増ヲ見タリ輸出入品ノ埠頭堆積ハ數万噸ニ達シ近來ナキ壯觀ニシテ埠頭ハ正ニ北支經濟状態急速ナル好轉ト共ニ益々其ノ眞價ヲ發揮セン

一、昭和十三年四月中酌婦檢査及治癒成績左ノ如シ

月	日	處	別	受檢者	健康者	新患者	舊患者	治癒者	治癒日	支
四月	一日	裕德里		一七三	二九	一四〇	九	二四		八
全	四日	全		二九	二九	五	五	四		八

【衛生】

四月分法定傳染病發生及轉歸表左ノ如シ

病名	發生		計	轉歸		現在數
	舊	新		治癒	死亡	
腸チブス	一〇	二	一二		一二	
赤痢	七	一	八		八	
猩紅熱	四	一	五	四	一	
チフテリア	五	二	七	一	六	
痘瘡	二		二	一	一	
計	二八		三四	六	二八	

四月分肺結核發生及轉歸表

病名	發生		計	轉歸		現在數
	舊	新		治癒	死亡	
肺結核	九	二	一一	一	一〇	



全	二十八日	盛德里		九四																				
全	三十日	裕德里		一七〇																				
計						五三	三六九	一、六七	四九		三三	一、八一	一〇	三	八四	一四	一五	九四	一八	三五	八			

備考

三業組合檢微回数三回一回平均一四〇名

【社 會】

一、四月中求職受付數百四十五名内就職數七十三名ニシテ其職別左ノ如

事務員 通譯 運轉手 雜務 計  
 二六名 三名 三名 四一名 七三名

一、四月中内地送還者ニ對シ支出セル救助費左ノ如シ

銀貳拾五弗也

北海道函館市音羽町七十五番地

多 胡 政 憲 (二十五歲)

銀五弗也

島根縣本伯郡高城村字大高二二番地

河 野 巽 (三十一歲)

銀五弗也

全羅南道順天郡順天邑梅谷里一三八番地

金 小 南 水 (二十六歲)

銀五弗也

高知縣吾川郡伊野町

大岡 イトキ (二十八歲)

銀五弗也

新潟市附船町一丁目

高橋 種吉 (三十六歲)

一、左記ノ者四月十八日日本租界橋街福聚里ニ於テ病死シタル處死体引

取者ナキ爲メ行路病死亡者トシテノ取扱ヲナセリ

群馬縣佐波郡上陽村字上福島一〇四七番地

戶主良治弟 無職 岡 田 時 太

明治四十五年七月三日生

【彙 報】

一、參事會

第十二回參事會四月十三日報告事項

一、市公署ニ於ケル防水會議經過報告ノ件

一、特別工巡費ノ件

一、防空會議經過報告ノ件

一、土地課金地價修正案決定報告ノ件

諮問事項

議案第三十三號 (三角氏記念品贈呈ノ件)

全 第三十四號 (埠頭倉庫貸付ニ關スル件)

全 第三十五號 (汚物收去請負契約ノ件)

全 第三十六號 (汲泉式便所ヲ水洗式ニ改造ノ件)

全 第三十七號 (野田氏數願書ノ件)

全 第三十八號 (民會議員級別制度調査委員會委員選任ニ關スル件)

全 第三十九號 (民會議場ニ於ケル參事會員發言ニ關スル件)

第十三回參事會 四月二十五日

報告事項

一、招魂舉行ノ件

一、天長節奉祝行事ノ件

一、防護團編成ニ關スル件

一、英國工部局ト自動車鑑札料分配ニ關スル件

一、華北汽車公司租界内通過ニ關スル件

一、天津中央電話局ト交渉ノ件

一、民會議場ニ於ケル參事會員發言ニ關スル件

一、交通事故防止標語募集ノ件

一、招魂祭御神酒寄贈ノ件

一、天長節祝賀式ニ長泰洋行セリ清酒寄贈ノ件

諮問事項

議案第三十八號ノ二 (民會議員選舉級別制調査委員會選任ニ關スル件)

全 第四十號 (昭和十三年度工巡費決定案)

全 第四十一號 (全 衛生費賦課査定案)

○民會議員級別制調査委員

(昭和十三年四月二十七日委囑)

遠山 猛雄 岡本 久雄 龜澤 省朔

福長 永太郎 森川 照太 齊藤 茂一郎

上野 壽 河村 二郎 牧 尙一

田村 俊次 佐藤 洋之助 山田 榮治

野崎 誠近 大内 專 眞藤 乘生

小澤 昇 鹽谷 信治 志村 正三

中村 三雄 長野 勳 植前 香

蔭山 寅一 原田 万造 矢彦 澤平司

加藤 尙三

一、課金調査委員會 四月五日

第三回 課金調査委員會 議案

一、地價修正ノ件

一、工巡費賦課率(内規)修正ノ件

第四回 課金調査委員會 四月六日

議案

一、地價修正ノ件

第五回 課金調査委員會 四月七日

議案

一、地價修正ノ件

第六回 課金調査委員會 四月八日

議案

一、地價修正ノ件

第七回 課金調査委員會 四月十二日

議案

一、地價修正ノ件

一、昭和十三年度營業課金査定ノ件

第八回 課金調査委員會 四月十五日

議案

一、昭和十三年度營業課金査定ノ件

第九回 課金調査委員會 四月十九日

議案

一、昭和十三年度營業課金査定ノ件

第十回 課金調査委員會 四月二十日

議案

一、昭和十三年度營業課金査定ノ件

一、昭和十三年度工巡費査定ノ件

第十一回 課金調査委員會 四月二十一日

議案

一、昭和十三年度營業課金査定ノ件

【調査】

一、今事變以來在任邦人ノ増加ニ伴ヒ交通事故ノ發生頻々トシテ起リ近クハ巡捕殉職事件等アリ寔ニ寒心ニ堪ヘザルニツキ之ガ防止ノ目的ヲ以テ左記方法ニヨリ汎ク交通事故防止ノ標語ヲ募集スルコト、セリ

(20)

「交通事故防止標語」募集

最近頻繁トシテ起ル交通事故ハ何ヲ物語ル?

オ互ノ油断! オ互ノ無理!

コノ油断ヤ無理ガ如何ニ自己ヲ亡ボシ他人ヲ亡ボスカヲ互ニモツト

深ク知ツテ頂クタメニ今回當天津居留民団デハ一般居留民ヨリ「交

通事故防止標語」ヲ募集スルコトニ致シマシタ

奮ツテ應募シテ下サイ

主催 天津居留民団



後援 在天津日本總領事館警察署

天津日報社

京津日日新聞社

『交通事故防止標語』應募規定

用紙 郵便葉書又ハ同大ノ西洋紙

標語句數 一人(甲)二句(乙)二句 以內ニシテ各句ニ(甲)(乙)ノ區別

ヲ冠記スルコト

冠記セザルモノハ審査員ノ判定ニ從フコト

書体ハ必ず楷書ノコト

標語ノ種類 (甲)ニ屬スルモノ

歩行者各自ノ注意ヲ促スモノ

(乙)ニ屬スルモノ

諸車操縦者ノ注意ヲ促スモノ

住所氏名 標語ノ横ニ楷書ニテ記載

投句先 天津日本租界福島街十八

天津居留民團調査課標語係

締切 六月二十日午后五時迄ニ當係ニ到着ノコト

發表 七月一日 天津日報 京津日日新聞朝刊及ビ天津居留民

團前

但當選者ニハ別ニ通知ス

審査員 平山 中佐 目黒 少佐 田中 彦藏

井平 清見 坪田 芳太郎 白井 忠三

前田 鉞雄 鶴田 定方 若菜 佐

池田 武男 山城 靜徳 山川 眞

森川 照太 眞藤 棄生 内山 水棹

審査方法 甲、乙ノ種類別ニヨリ各審査員ノ共鳴句中ノ最高点ヨリ

順次等級ヲ定ム但同点句アル場合ハ句其ノミ再選ニヨリ

決定ス

賞金 甲ノ部乙ノ部共

一等一名 金五拾圓也

二等一名 金參拾圓也

三等一名 金拾圓也

『交通事故防止標語』應募句取扱其他規定

一、期日内ニ於ケル投句受付順ニヨリ番號ヲ附シ之ヲ甲乙ニ分チ番

號順ニ無記名ニテ謄寫印刷トナシ各審査員ニ各一部宛同時ニ配

付ス

一、審査場所及日時ハ追而通知ス

一、審査員ハ甲乙兩種中ヨリ共鳴句各二十句ヲ選ビ之ニ〇印ヲ附シ

係員ニ提出ス

一、係員ハ甲乙兩種ノ各共鳴句ヲ番號ニヨリ整理スベシ

一、整理後ハ甲乙兩種中ノ最高点句ヨリ順次等級ヲ拾等マデ決定ス

ベシ

一、決定後ニ於ケル處置ハ係員ニ於テ之ヲナス  
昭和十三年度日本租界内土地街別坪當り平均價額表  
以上

街名	價額	街名	價額	街名	價額	街名	價額	街名	價額	平均
山口	二九	美橋	〇八	萊萊	三〇	大和	九元			
關口	九〇	春日	六六	松島	二〇	平均	二三			元
壽	一四	吉野	三三	浪速	六六					
新壽	九	明石	九	宮島	二〇					
曙	七一	須磨	三三	吾妻	二三					
旭	二七	淡路	七	伏見	八三					
常盤	二七	三島	五	桃山	三三					
榮	三七	興津	三	福島	二三					
花園	三六	住吉	六	橋立	二〇					
芙蓉	二三	秋山	八	扶桑	二三					

租界別坪當り平均價額

租界別	價額	額
日界	一一三	二九
佛界	一〇八	八九
英界	五九	四二
伊界	二八	二六

特	特	特	特
一	二	三	四
三二	三一	二〇	九
一四	七八	五八	三二

【雜報】

- 一、四月二日傷病將士慰問ノ爲支那駐屯軍病院飛田部隊全花見部隊へ運動具及清涼飲料水等寄贈セリ
- 一、四月三日午前十時特別第二區滿鐵事務所ニ於テ新民會發會式舉行セラレ來賓トシテ日井民團長桑原書記補ヲ滯同シ出席セラル
- 一、四月八、九兩日傷病將士慰問ノ爲メ天津會館演藝部員ヲシテ兵站病院飛田部隊及全花見部隊ヲ慰問セリ
- 一、四月十四日午後三時於公會堂防護團設立ニ關スル協議會開催シ軍及關係官公所代表各町内會代表出席シ協議スルトコロアリタリ
- 一、四月十五日午後三時於會議室防護分團長詮衡委員會開催シ協議ノ結果左ノ通り推薦セラレタリ

- 第一分團長 武田進三 同副團長 大内 專
- 第二分團長 岡本久雄 同副團長 福光信一
- 第三分團長 古田治四郎 同副團長 大日向留太

同 野々市兵次

- 一、四月十六日午後一時於會議室防護團編成ニ關スル協議會開會、軍及關係官公所代表及各分團長、同副分團長出席天津防護規約案、天津防護團規約案ニ付審議スルトコロアリタク
- 一、四月二十日京城商工會議所北支視察團一行六名來局
- 一、四月二十二日内地還送傷兵將士ニオ土産トシテ民團編纂ニ係ル鳥瞰ノ天津壹千部ヲ飛田部隊ニ五百部ヲ花見部隊ニ五百部ヲ支那駐屯軍ニ寄贈セリ
- 一、四月二十六日靖國神社臨時大祭ニ付官民合同主催ノ下ニ午前十時商業學校々庭ニ於テ本年度招魂祭ヲ舉行、軍官民多數參列シ盛大ニ學行サレタリ
- 一、四月二十九日天長節ハ外務省ノ指令ニ依リ祝賀宴等ヲ避ケ儀式ヲ盛大ニ催スコト、ナリ官民合同主催ノ下ニ午前十一時商業學校々庭ニ於テ舉行セリ
- 一、大毎東日兩新聞社派遣皇軍慰問映畫班上坂主務一行來津四月二十九日午後八時商業學校々庭ニ於テ居留民慰問映畫會開催況ヲ呈セリ
- 一、四月二十九日天津日本商業學校講堂ニ於テ民團共益會主催ノモトニ大阪毎日新聞社提供ニ係ル映畫ヲ上映居留民慰安映畫ノ夕ヲ開催當日場内整理費トシテ入場者ヨリ徵收セル總額金四十四圓七十二錢也ハ大毎拔國防獻金トシテ全社天津支局ニ獻金手續方依頼セリ

